



● 2020年版 ●

健康管理事業 実績報告



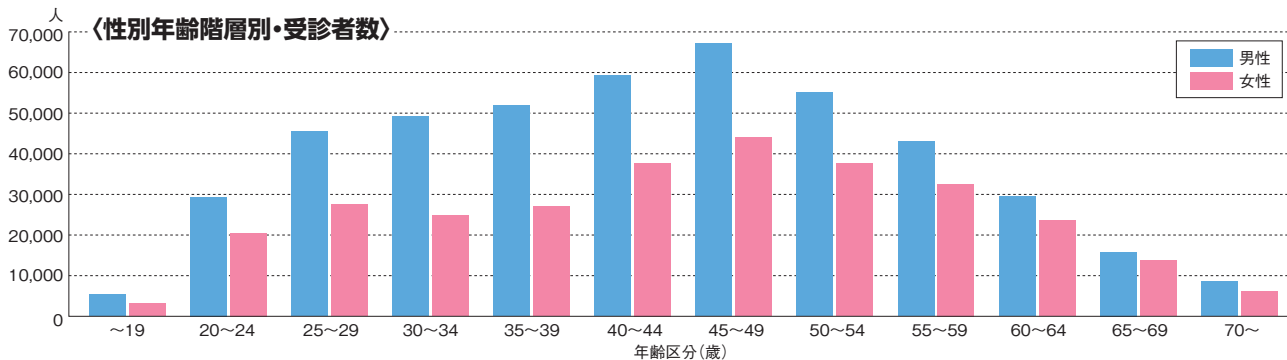


健康管理事業実績

定期健康診断受診状況

■2019年度(2019年4月～2020年3月)職域就労者を対象として行った定期健康診断の受診状況は、KKCの健康管理・判定システムに基づいて集計しました。独自の判定・管理基準を持つ職域・地域・学校の受診状況は、集計から外しています。

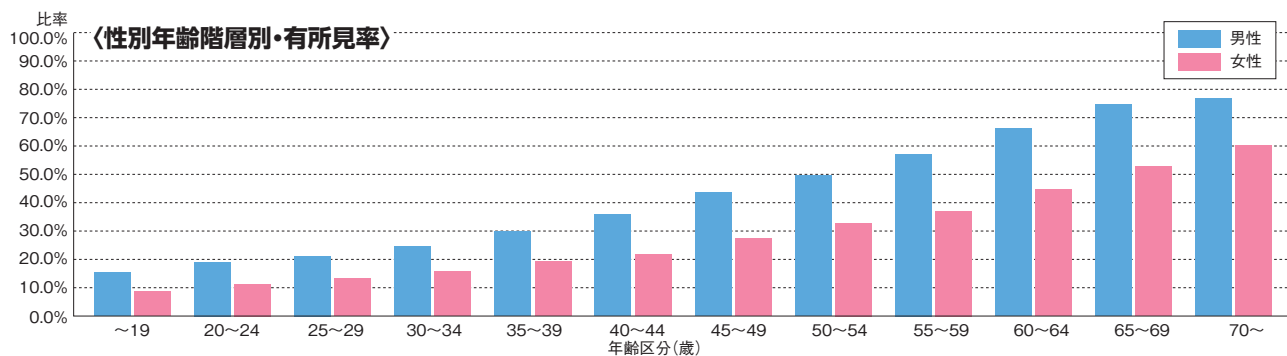
性別年齢階層別・受診者数と割合



年齢(歳)	男性		女性		合計	
	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)
～19	5,249	1.1%	3,195	1.1%	8,444	1.1%
20～24	29,380	6.4%	20,532	6.9%	49,912	6.6%
25～29	45,451	9.9%	27,598	9.2%	73,049	9.6%
30～34	49,247	10.7%	24,821	8.3%	74,068	9.8%
35～39	51,979	11.3%	27,121	9.1%	79,100	10.4%
40～44	59,399	12.9%	37,781	12.7%	97,180	12.8%
45～49	67,216	14.6%	44,052	14.8%	111,268	14.7%
50～54	55,227	12.0%	37,667	12.6%	92,894	12.2%
55～59	43,012	9.4%	32,602	10.9%	75,614	10.0%
60～64	29,593	6.4%	23,540	7.9%	53,133	7.0%
65～69	15,786	3.4%	13,681	4.6%	29,467	3.9%
70～	8,465	1.8%	6,056	2.0%	14,521	1.9%
合計	460,004	100.0%	298,646	100.0%	758,650	100.0%

■集計対象の受診者総数は、758,650人(男性460,004人、女性298,646人)でした。

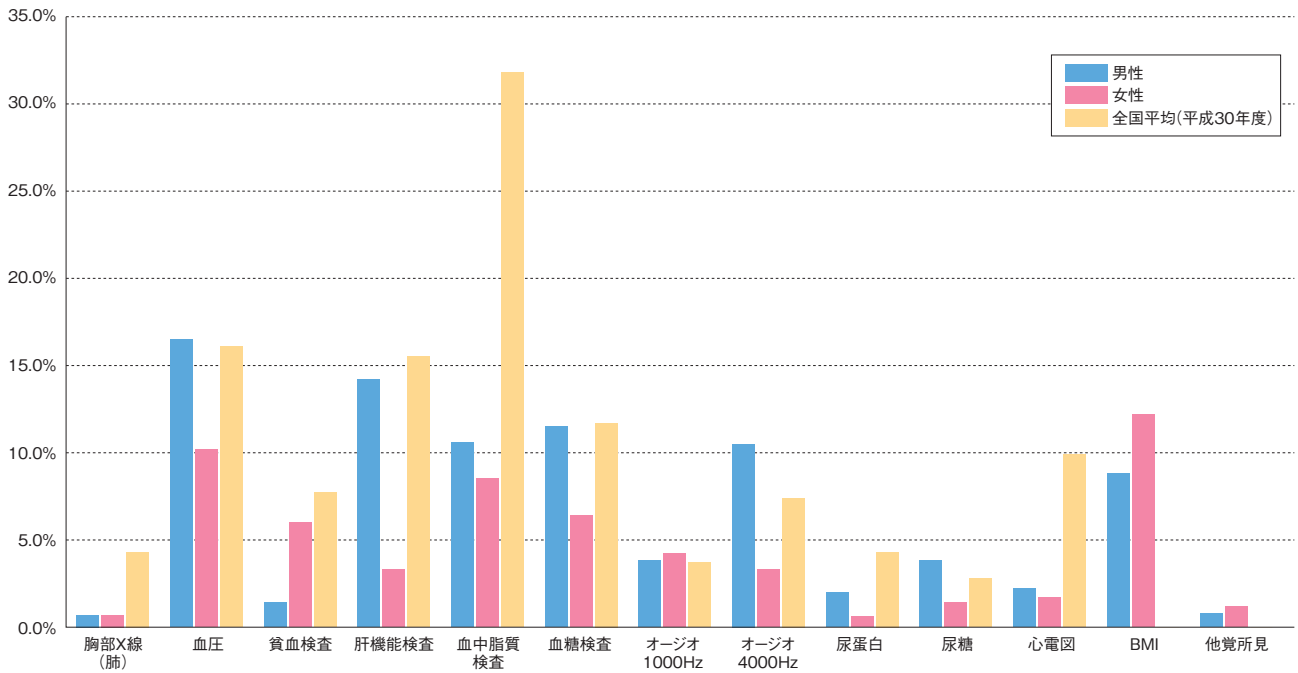
性別年齢階層別・所見のあった者の割合



年齢(歳)	男性		女性		合計	
	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)
～19	808	15.4%	275	8.6%	1,083	12.8%
20～24	5,587	19.0%	2,315	11.3%	7,902	15.8%
25～29	9,584	21.1%	3,661	13.3%	13,245	18.1%
30～34	12,078	24.5%	3,934	15.8%	16,012	21.6%
35～39	15,437	29.7%	5,212	19.2%	20,649	26.1%
40～44	21,244	35.8%	8,189	21.7%	29,433	30.3%
45～49	29,173	43.4%	12,077	27.4%	41,250	37.1%
50～54	27,270	49.4%	12,303	32.7%	39,573	42.6%
55～59	24,499	57.0%	12,047	37.0%	36,546	48.3%
60～64	19,493	65.9%	10,472	44.5%	29,965	56.4%
65～69	11,750	74.4%	7,185	52.5%	18,935	64.3%
70～	6,482	76.6%	3,626	59.9%	10,108	69.6%
合計	183,405	39.9%	81,296	27.2%	264,701	34.9%

■健診項目全体の有所見率は34.9%(男性39.9%、女性27.2%)でした。
全国有所見率55.5%([令和2年]労働衛生のしおり)と比較すると、KKC有所見率(34.9%)は低くなっています。

性別健診項目別・有所見率

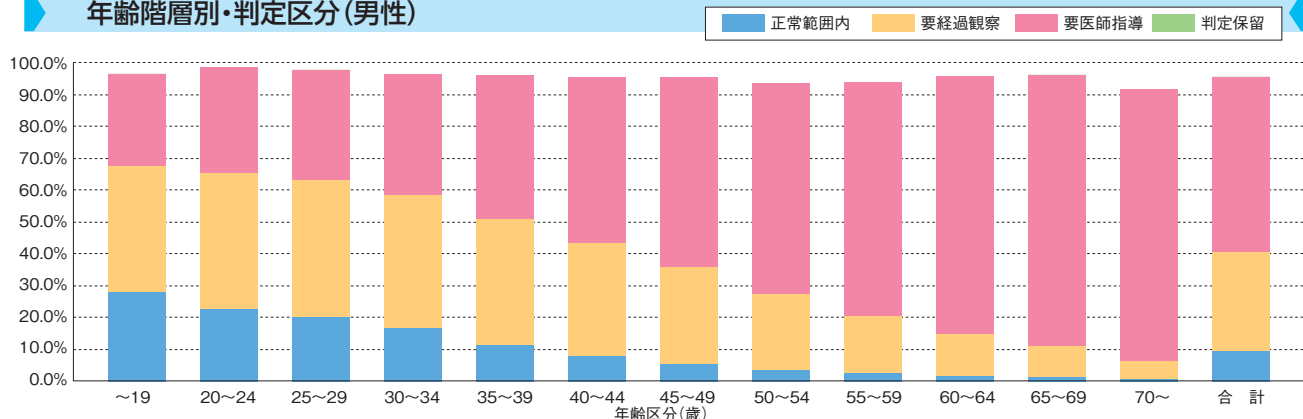


性別	胸部X線(肺)	血圧	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	オージオ1000Hz	オージオ4000Hz	尿蛋白	尿糖	心電図	BMI	他覚所見
男性	0.7%	16.5%	1.4%	14.2%	10.6%	11.5%	3.8%	10.5%	2.0%	3.8%	2.2%	8.8%	0.8%
女性	0.7%	10.2%	6.0%	3.3%	8.5%	6.4%	4.2%	3.3%	0.6%	1.4%	1.7%	12.2%	1.2%
*全国平均(平成30年度)	4.3%	16.1%	7.7%	15.5%	31.8%	11.7%	3.7%	7.4%	4.3%	2.8%	9.9%	—	—

※「全国平均:(令和2年)労働衛生のしおり」より

■胸部X線検査(肺)有所見率は1%未満と全国平均より低率です。これは過去画像との比較読影による判定精度の向上が寄与しているものと推察されます。血液検査、心電図はKKC基準による所見率です。

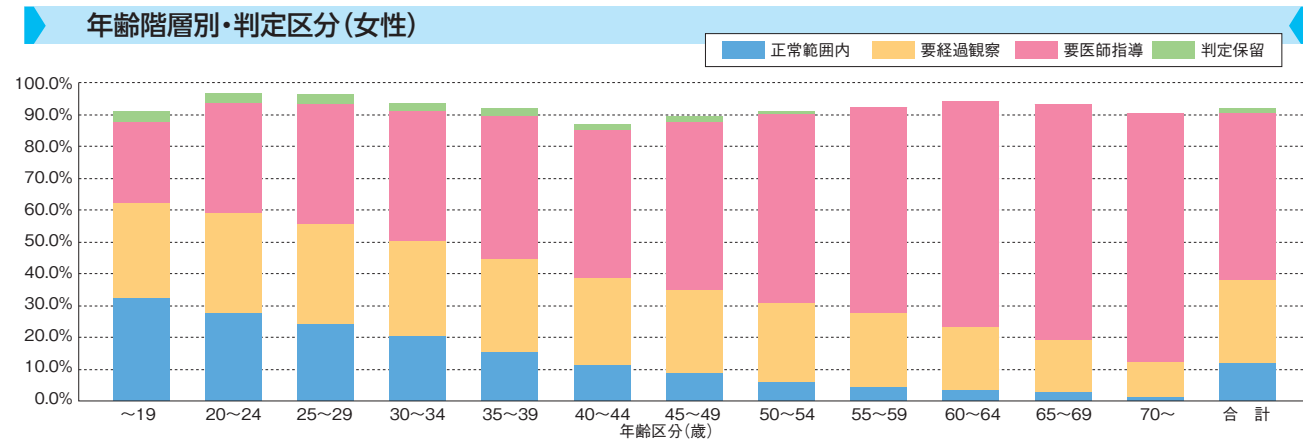
年齢階層別・判定区分(男性)



年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
~19	5,249	1,463	27.9%	2,073	39.5%	1,522	29.0%	0	0.0%
20~24	29,380	6,668	22.7%	12,526	42.6%	9,691	33.0%	0	0.0%
25~29	45,451	9,155	20.1%	19,469	42.8%	15,772	34.7%	1	0.0%
30~34	49,247	8,295	16.8%	20,474	41.6%	18,598	37.8%	1	0.0%
35~39	51,979	5,906	11.4%	20,516	39.5%	23,363	44.9%	13	0.0%
40~44	59,399	4,732	8.0%	20,956	35.3%	30,905	52.0%	51	0.1%
45~49	67,216	3,680	5.5%	20,274	30.2%	40,031	59.6%	33	0.0%
50~54	55,227	2,064	3.7%	13,023	23.6%	36,552	66.2%	25	0.0%
55~59	43,012	1,157	2.7%	7,562	17.6%	31,585	73.4%	13	0.0%
60~64	29,593	531	1.8%	3,885	13.1%	23,875	80.7%	11	0.0%
65~69	15,786	206	1.3%	1,517	9.6%	13,455	85.2%	5	0.0%
70~	8,465	67	0.8%	472	5.6%	7,211	85.2%	3	0.0%
合計	460,004	43,924	9.5%	142,747	31.0%	252,560	54.9%	156	0.0%

■2019年度(合計)の要医師指導は54.9%で、前年に比べ1.2ポイント増加しています。
4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

年齢階層別・判定区分(女性)



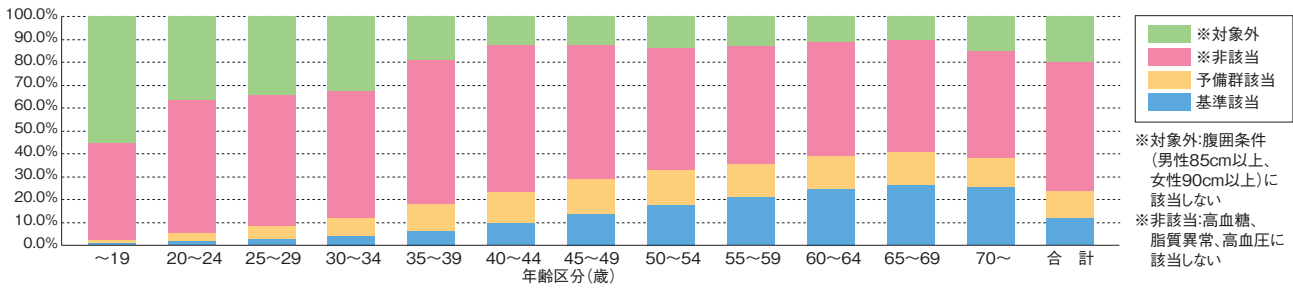
年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
~19	3,195	1,024	32.1%	955	29.9%	814	25.5%	108	3.4%
20~24	20,532	5,636	27.4%	6,488	31.6%	7,039	34.3%	703	3.4%
25~29	27,598	6,602	23.9%	8,725	31.6%	10,326	37.4%	887	3.2%
30~34	24,821	5,010	20.2%	7,454	30.0%	10,051	40.5%	690	2.8%
35~39	27,121	4,160	15.3%	7,875	29.0%	12,205	45.0%	682	2.5%
40~44	37,781	4,211	11.1%	10,384	27.5%	17,502	46.3%	768	2.0%
45~49	44,052	3,789	8.6%	11,581	26.3%	23,199	52.7%	776	1.8%
50~54	37,667	2,197	5.8%	9,411	25.0%	22,283	59.2%	262	0.7%
55~59	32,602	1,406	4.3%	7,563	23.2%	21,089	64.7%	16	0.0%
60~64	23,540	784	3.3%	4,635	19.7%	16,721	71.0%	8	0.0%
65~69	13,681	386	2.8%	2,225	16.3%	10,100	73.8%	3	0.0%
70~	6,056	73	1.2%	652	10.8%	4,741	78.3%	3	0.0%
合計	298,646	35,278	11.8%	77,948	26.1%	156,070	52.3%	4,906	1.6%

■2019年度(合計)の要医師指導は52.3%で、前年に比べ0.8ポイント増加しています。
女性の判定保留の比率が高いのは、尿検査(月経血混入)によるものと考えられます。
4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

性別年齢階層別・メタボリックシンドローム階層化内訳

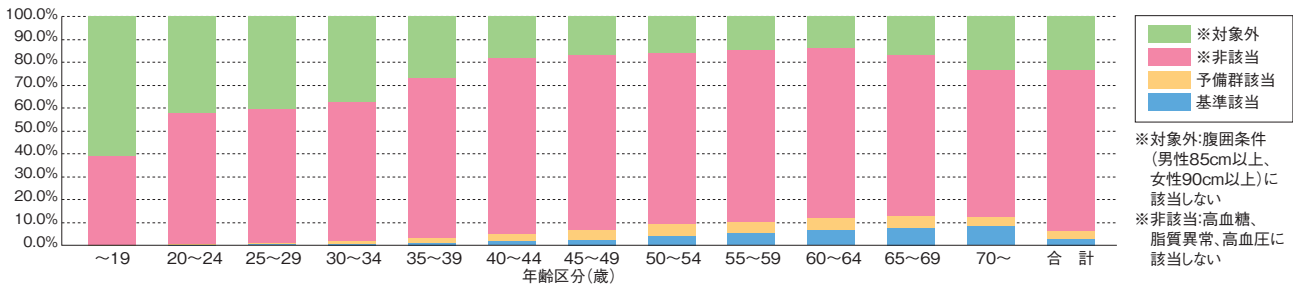
男性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	5,249	40	0.8%	79	1.5%	2,222	42.3%	2,908	55.4%
20～24	29,380	459	1.6%	1,093	3.7%	17,037	58.0%	10,791	36.7%
25～29	45,451	1,149	2.5%	2,582	5.7%	26,129	57.5%	15,591	34.3%
30～34	49,247	1,950	4.0%	3,839	7.8%	27,418	55.7%	16,040	32.6%
35～39	51,979	3,242	6.2%	5,997	11.5%	32,913	63.3%	9,827	18.9%
40～44	59,399	5,681	9.6%	8,197	13.8%	37,961	63.9%	7,560	12.7%
45～49	67,216	9,236	13.7%	10,026	14.9%	39,420	58.6%	8,534	12.7%
50～54	55,227	9,716	17.6%	8,372	15.2%	29,371	53.2%	7,768	14.1%
55～59	43,012	8,956	20.8%	6,365	14.8%	21,999	51.1%	5,692	13.2%
60～64	29,593	7,264	24.5%	4,245	14.3%	14,839	50.1%	3,245	11.0%
65～69	15,786	4,135	26.2%	2,271	14.4%	7,769	49.2%	1,611	10.2%
70～	8,465	2,134	25.2%	1,111	13.1%	3,937	46.5%	1,283	15.2%
合計	460,004	53,962	11.7%	54,177	11.8%	261,015	56.7%	90,850	19.7%

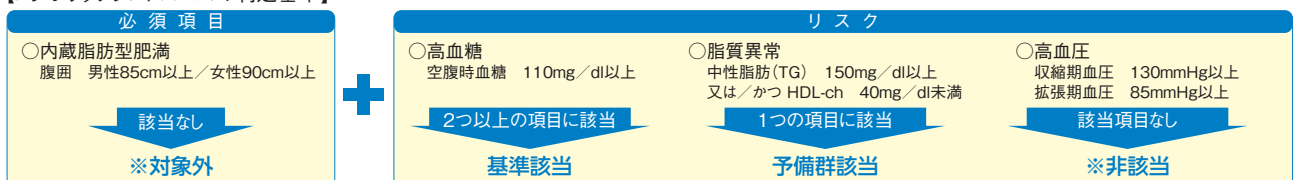


女性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	3,195	1	0.0%	5	0.2%	1,241	38.8%	1,948	61.0%
20～24	20,532	22	0.1%	79	0.4%	11,738	57.2%	8,693	42.3%
25～29	27,598	74	0.3%	207	0.8%	16,131	58.4%	11,186	40.5%
30～34	24,821	142	0.6%	333	1.3%	14,966	60.3%	9,380	37.8%
35～39	27,121	268	1.0%	596	2.2%	18,838	69.5%	7,419	27.4%
40～44	37,781	625	1.7%	1,239	3.3%	28,979	76.7%	6,938	18.4%
45～49	44,052	1,063	2.4%	1,822	4.1%	33,835	76.8%	7,332	16.6%
50～54	37,667	1,535	4.1%	1,930	5.1%	28,132	74.7%	6,070	16.1%
55～59	32,602	1,655	5.1%	1,673	5.1%	24,338	74.7%	4,936	15.1%
60～64	23,540	1,527	6.5%	1,249	5.3%	17,445	74.1%	3,319	14.1%
65～69	13,681	1,047	7.7%	695	5.1%	9,606	70.2%	2,333	17.1%
70～	6,056	494	8.2%	254	4.2%	3,865	63.8%	1,443	23.8%
合計	298,646	8,453	2.8%	10,082	3.4%	209,114	70.0%	70,997	23.8%



【メタボリックシンドロームの判定基準】



労災二次健康診断

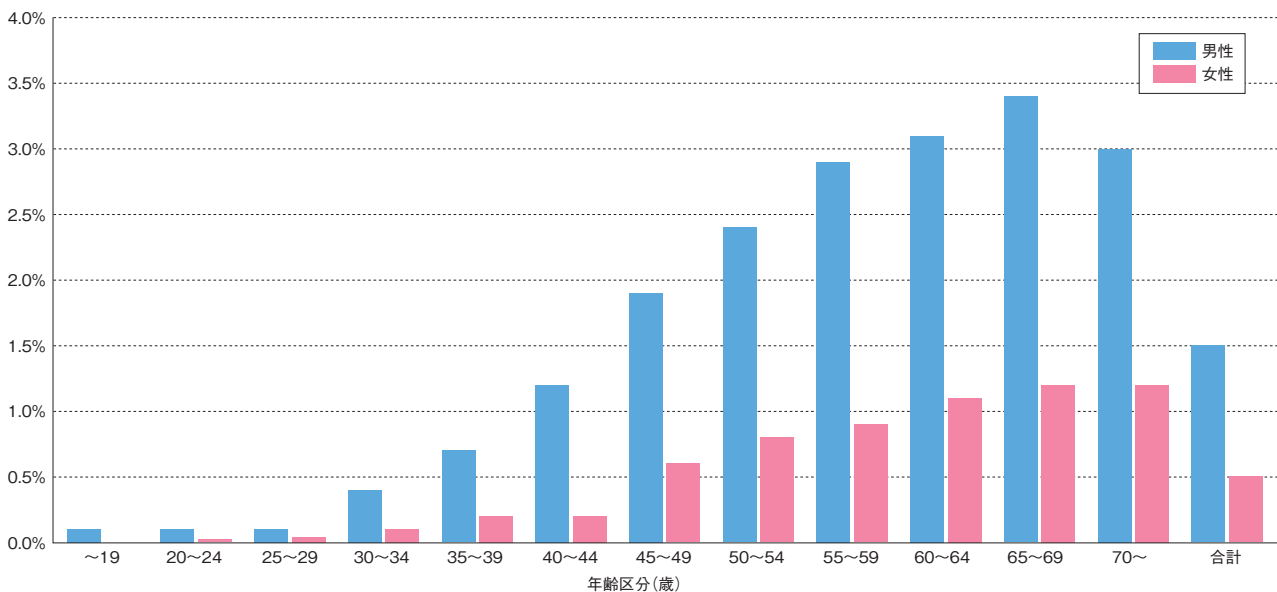
労災二次健康診断対象者

■下記のガイドラインが示す1～4の項目全てを満たす受診者を対象とし、脳虚血疾患や虚血性心疾患といった動脈硬化性疾患の精密検査を目的としたものです。その対象者の割合の高さは事業所の健康度の指標となります。

2019年度の検査対象者の割合は、受診者の1.1%(男性1.5% 女性0.5%)、前年(受診者の1.1%(男性1.4% 女性0.5%))と大きな変化は認めません。

項目	年齢(歳)	男性			女性			合計		
		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)	
			人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)
労災二次対象者	～19	5,249	4	0.1%	3,195	0	0.0%	8,444	4	0.0%
	20～24	29,380	24	0.1%	20,532	3	0.0%	49,912	27	0.1%
	25～29	45,451	67	0.1%	27,598	9	0.0%	73,049	76	0.1%
	30～34	49,247	187	0.4%	24,821	22	0.1%	74,068	209	0.3%
	35～39	51,979	341	0.7%	27,121	56	0.2%	79,100	397	0.5%
	40～44	59,399	721	1.2%	37,781	93	0.2%	97,180	814	0.8%
	45～49	67,216	1,281	1.9%	44,052	245	0.6%	111,268	1,526	1.4%
	50～54	55,227	1,348	2.4%	37,667	299	0.8%	92,894	1,647	1.8%
	55～59	43,012	1,228	2.9%	32,602	283	0.9%	75,614	1,511	2.0%
	60～64	29,593	907	3.1%	23,540	262	1.1%	53,133	1,169	2.2%
	65～69	15,786	539	3.4%	13,681	169	1.2%	29,467	708	2.4%
70～	8,465	257	3.0%	6,056	75	1.2%	14,521	332	2.3%	
合計	460,004	6,904	1.5%	298,646	1,516	0.5%	758,650	8,420	1.1%	

階層別・労災二次健診対象者(4項目該当)



【労災二次健康診断を行う有所見の診断についてのガイドライン】

以下の検査の1～4の項目すべてを満たすもの

1. 血 圧：収縮期血圧140mmHgまたは、拡張期血圧90mmHg以上
2. 血中脂質：LDLコレステロール140mg/dl以上、又はHDLコレステロール40mg/dl未満、またはトリグリセライド150mg/dl以上
3. 血 糖：空腹時血糖値(食後8時間以上)：110mg/dl 食後血糖値(食後8時間未満)：140mg/dl以上*
HbA1c(NGSP)：6.0%以上
4. 肥 満：BMI25以上、二次健診時に内臓脂肪型肥満の判定として、ウエスト周囲径 男性85cm以上、女性90cm以上

【対象者除外条件】

治療中(内容コード=4)「脳梗塞、脳出血など他の脳血管疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患」
(日本医師会監修、「2次健康診断項目と特定保健指導のガイドライン」2001より改変)

*KKC有所見追加基準



特殊健康診断

概要

特殊健康診断の受診者数は、2018年度までは概ね増加傾向にありましたが、2019年度については新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行による特殊健康診断実施時期の延期の影響もあり、前年に比べ、KKCの特殊健康診断受診者数は減少しています。

1. 特殊健康診断の所見率

①じん肺健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、管理区分2以上の有所見率は近年1%未満で推移しており、厚生労働省の調査より低値を示しています。

対象物質	受診者数	管理区分(小陰影区分)											
		0/-	0/0	0/1	1/0	1/1	1/2	2/1	2/2	2/3	3/2	3/3	3/+
じん肺	7,222	0	7,185	12	8	7	4	1	5	0	0	0	0
	比率	0.00%	99.49%	0.17%	0.11%	0.10%	0.06%	0.01%	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

②有機溶剤健康診断

■各管理区分の内訳は、B1が減少しAが増加する結果となりましたが、前年に比べ受診者数が減少したことで、受診者の内訳が変化した可能性もあり、今後の推移を見る必要があります。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
有機溶剤	44,718	29,592	6,426	0	0	44	6,811	1,845
	比率	66.17%	14.37%	0.00%	0.00%	0.10%	15.23%	4.13%

③鉛健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
鉛	2,731	2,072	0	0	0	0	593	66
	比率	75.87%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	21.71%	2.42%

④特定化学物質等健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化は認めません。

対象物質	※延べ受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
特定化学物質	55,875	41,953	3,001	4	0	19	9,590	1,308
	比率	75.08%	5.37%	0.01%	0.00%	0.03%	17.16%	2.34%

※個人で複数の化学物質対象がある為、延べ受診者数で表記しています。

⑤石綿健康診断

■各管理区分の内訳は、Aが減少し T、T0 が増加する結果となりましたが、前年に比べ受診者数が減少したことで、受診者の内訳が変化した可能性もあり、今後の推移を見る必要があります。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
石綿	4,556	2,783	0	7	0	0	1,662	104
	比率	61.08%	0.00%	0.15%	0.00%	0.00%	36.48%	2.28%

⑥電離放射線健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
電離放射線	6,599	4,798	195	18	0	16	1,330	242
	比率	72.71%	2.95%	0.27%	0.00%	0.24%	20.15%	3.67%

⑦酸等取扱い者の歯科健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分				
		特別	1	2	3	4
歯科	4,955	4	1,349	3,549	44	11
	比率	0.08%	27.23%	71.62%	0.89%	0.22%

2. 指導勧奨による健康診断の所見率

紫外線・赤外線業務従事者健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線業務従事者	2,465	2,056	10	3	0	2	5	389
	比率	83.41%	0.41%	0.12%	0.00%	0.08%	0.20%	15.78%

騒音作業健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分								
		A	A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業	12,937	4,707	4,313	2,774	512	314	0	0	130	187
	比率	36.38%	33.34%	21.44%	3.96%	2.43%	0.00%	0.00%	1.00%	1.45%

T：聴力検査の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合、または異常が認められる場合（管理Rに属するものを除く）

T0：当該因子以外の原因と考えられる異常を一部に認めるが、直ちに治療等を必要としないもの

VDT作業健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	B3	C	T	T0
VDT作業	11,600	6,763	417	1,630	0	0	894	1,896
	比率	58.30%	3.59%	14.05%	0.00%	0.00%	7.71%	16.34%

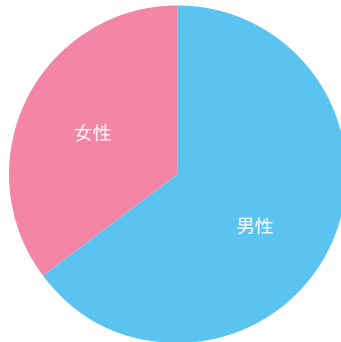
ストレスチェック

ストレスチェック集計(全般)

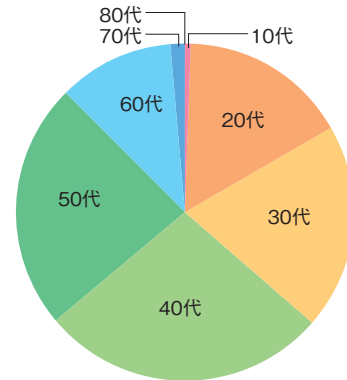
集計対象期間	2019/04/01 ~ 2020/03/31	受検者数	99,083	受検事業所数	1,066
--------	-------------------------	------	--------	--------	-------

性別	受検者数	割合
男性	64,335	64.9%
女性	34,748	35.1%

■受診割合:全体集計



■年齢別受診割合:全体集計

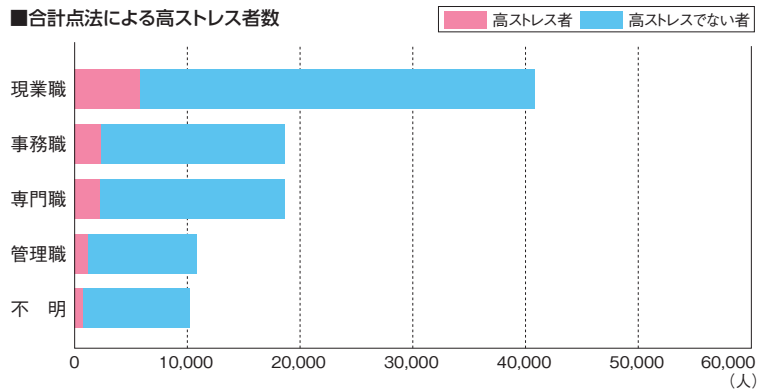


年齢階層	受検者数	割合
10代	646	0.7%
20代	15,908	16.1%
30代	19,503	19.7%
40代	27,305	27.6%
50代	23,487	23.7%
60代	11,004	11.1%
70代	1,206	1.2%
80代	24	0.0%

■合計点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,771	41,004	14.1%
事務職	2,307	18,273	12.6%
専門職	2,238	18,377	12.2%
管理職	1,190	11,061	10.8%
不明	782	10,368	7.5%

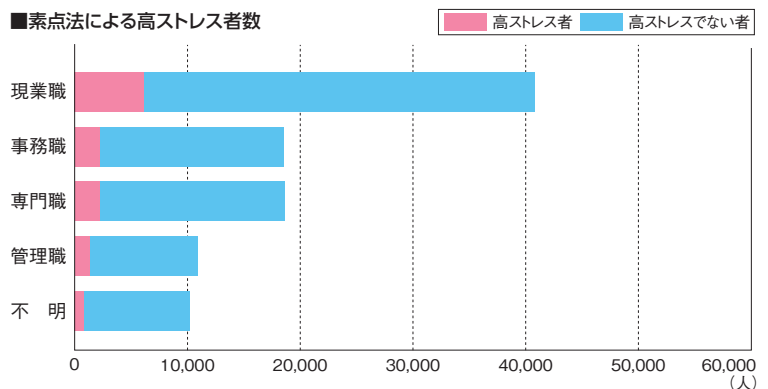
■合計点法による高ストレス者数



■素点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	6,174	41,004	15.1%
事務職	2,204	18,273	12.1%
専門職	2,205	18,377	12.0%
管理職	1,313	11,061	11.9%
不明	804	10,368	7.8%

■素点法による高ストレス者数



高ストレス者を選定するための方法<基本となる考え方>

■次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。

①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者

②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者

■上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。

-厚生労働省HPより抜粋-

■集団分析全国平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.7	7.9	7.5	8.1
女性	7.9	7.2	6.6	8.2

出典:平成19年度総括・分担報告書

表4.職業性ストレス簡易調査票下位尺度の職種別平均値および標準集団との比較より
(厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「職業性ストレス簡易調査票及び労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの職種に応じた活用法に関する研究」)

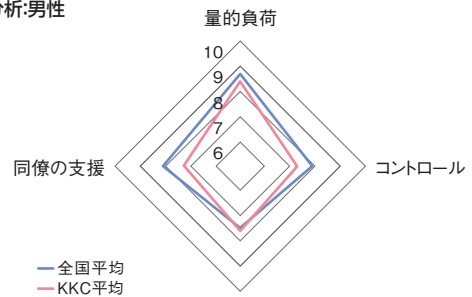
■集団分析KKCにて受検された事業所全体の平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.4	7.3	7.6	7.3
女性	8.0	7.5	7.9	7.0

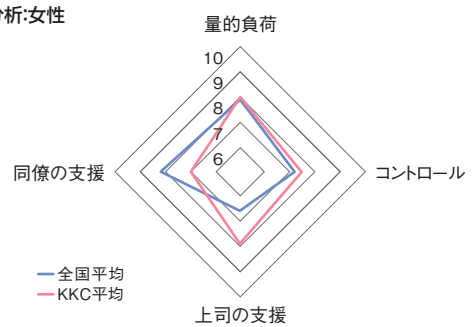
■全国平均とKKC平均の差

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	0.3	0.6	-0.1	0.8
女性	-0.1	-0.3	-1.3	1.2

■集団分析:男性



■集団分析:女性



■集団分析職種別全国平均(東京医科大学より)

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.5	7.5	7.4	8.0
	事務職	8.6	8.0	7.7	8.2
	専門職	8.7	7.9	7.4	8.0
	管理職	9.1	8.4	8.0	8.4
女性	現業職	7.5	7.2	6.3	7.8
	事務職	7.6	7.6	6.8	8.1
	専門職	7.9	7.2	6.7	8.2
	管理職	9.3	7.7	6.7	8.0

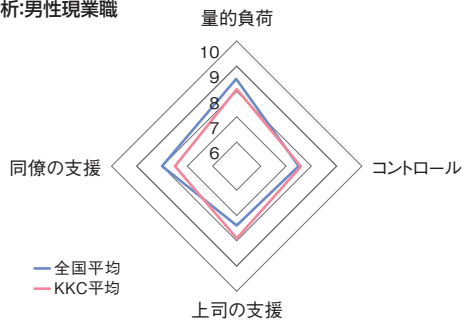
■集団分析KKCにて受検された事業所職種別の平均

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.1	7.6	7.9	7.5
	事務職	8.4	7.2	7.4	7.2
	専門職	8.8	7.1	7.4	7.1
	管理職	9.0	6.8	7.2	7.0
	不明	8.1	7.4	7.6	7.3
女性	現業職	7.8	7.9	8.2	7.2
	事務職	7.7	7.2	7.7	7.1
	専門職	8.9	7.5	7.4	6.6
	管理職	9.6	7.0	7.5	6.9
	不明	7.9	7.5	8.0	7.0

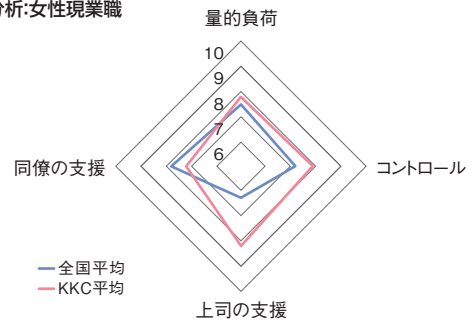
■全国平均とKKC平均の差

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	0.4	-0.1	-0.5	0.5
	事務職	0.3	0.8	0.3	1.0
	専門職	-0.1	0.8	0.0	0.9
	管理職	0.1	1.6	0.8	1.4
女性	現業職	-0.3	-0.7	-1.9	0.6
	事務職	-0.1	0.4	-0.9	1.0
	専門職	-1.0	-0.3	-0.7	1.6
	管理職	-0.3	0.7	-0.8	1.1

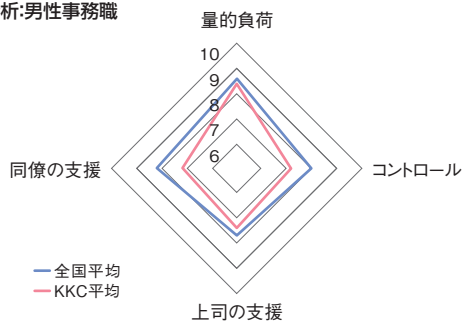
■ 集団分析: 男性現業職



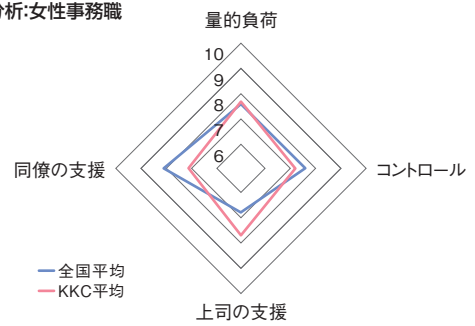
■ 集団分析: 女性現業職



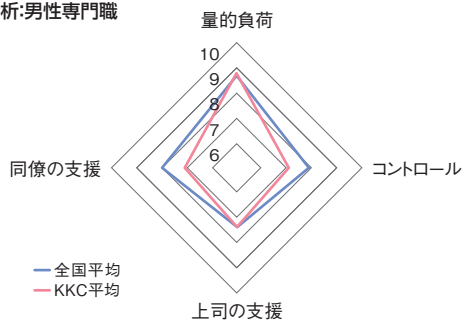
■ 集団分析: 男性事務職



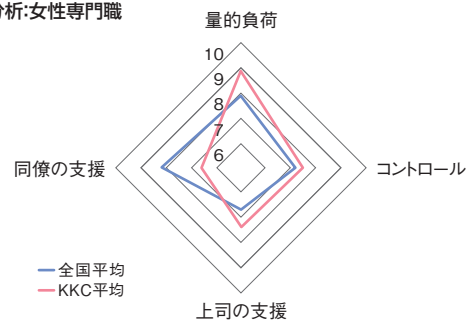
■ 集団分析: 女性事務職



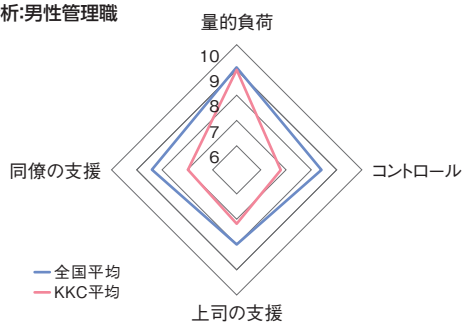
■ 集団分析: 男性専門職



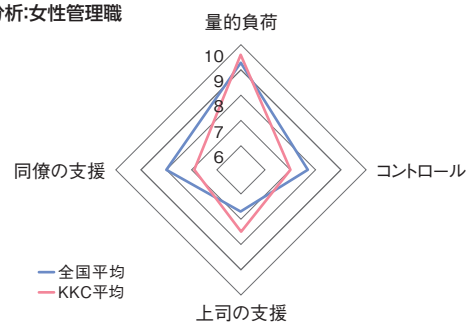
■ 集団分析: 女性専門職



■ 集団分析: 男性管理職



■ 集団分析: 女性管理職



性別や職種によってパターンに違いが認められます。



KKC 近畿健康管理センター

URL <https://www.zai-kkc.or.jp/>

本冊子に関する情報等は、
下記のホームページからご覧になれます。

https://www.zai-kkc.or.jp/before/annual_report/Nenpo.htm



- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷